

人間を救うのは、人間だ。

Together for humanity

平成21年

秋号

Vol.44

十 赤十字さが

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

発行/日本赤十字社佐賀県支部 〒840-0843 佐賀市川原町2番45号 TEL.0952 (25) 3108 ホームページ◆<http://www.saga.jrc.or.jp>

日本赤十字社佐賀県支部

検索

青少年赤十字海外派遣事業

大和中 田中君、山下さんが参加

青少年赤十字活動の実践目標の一つに「国際理解・親善」があります。日本赤十字社九州ブロックの青少年赤十字メンバーと指導者の24名が、平成 21年8月16日(日)から21日(金)の5泊6日の日程でカンボジア王国に派遣されました。このプログラムは日本赤十字社が行っている国際救援事業を体験し、また、現地の青少年赤十字メンバーとの交流を通し広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養うことを目的に実施されているもので、今回が5回目となります。佐賀県からは、佐賀市立大和中学校の田中秀君と山下真郁香さん、指導者として大和中学校教諭 古川昇平先生が派遣されました。

大和中学校2年 田中 秀

僕は3つのことをカンボジアに行つて学びました。一つ目は、人への思いやりです。思いやりは、周りへの気配りのことだと思います。ホームルームでも自分の意見だけでなく、他の人の意見とあわせてまとめることが大切だと思いました。

二つ目は、人とのコミュニケーションの大切さです。そして明るさというものが大切だと思います。人間は明るくしていた方が、みんな心を打ち明けてくれて、すぐ友達ができると思います。

三つ目は、外国と日本の違いを理解するということです。カンボジアでは、1970年代、ポル・ポトの虐殺が行なわれていました。現在、そのカンボジアは国の復興・発展のためにがんばっています。

この5泊6日の研修で日本の豊かさを改めて知ることができました。日本は戦争もなく、先進国と言われる立場にあるので、これからは環境問題など積極的に取り組まないといけないと思いました。

大和中学校2年 山口 真郁香

トゥールスレーン博物館の視察では、多くの人々が殺された写真がいっぱいあって、すごく目をそらしたかったです。キリングフィールドには、人の骨がたくさんありました。そして、人の殺し方を聞いたときはすごく悲しくなりました。どうして人間が人間を殺すのだろうかと思いました。

カンボジア赤十字社本部の訪問では、カンボジアの赤十字はどのような活動をしているのかを学びました。カンボジアでは、HIVで親を亡くした子どもや障がい者、自然災害などで被害を受けた人を守るそうです。また、青少年赤十字ではHIVや交通ルール・不発弾を見つけたときの対応方法を指導するそうです。

私は世界遺産を見るのは初めてだったので、アンコールワットの視察ではとても感動しました。ユースメンバーとの交流会では、私たちはソーラン節と歌を歌いました。この日のために練習をたくさんしていて、成功したのでかなりの達成感でした。

